

基本目標 II

世羅町の魅力を活かし、若い世代を中心とした移住・定住を推進する



1 数値目標

目 標	基準値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
20歳～39歳の人口	2,442人	2,203人 (1,617人※1)

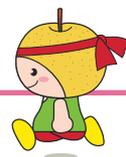
※1 国勢調査ベースの推計人口

2 基本的方向

移住定住促進を図るため、総合的な相談窓口の体制により、住まい・仕事などニーズに応じた情報を提供します。また、空き家バンク制度などを活用した移住定住支援や住宅の取得に向けた支援を行い、住まいの確保を図ります。あわせて、地域外の人材を積極的に受け入れ、関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。

3 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

基本施策 1 移住定住に関する総合的な支援



目 標	基準値 (令和元年)	目標値 (令和7年)
移住者数 (空き家バンクに限る)	18人	30人

施 策1 ニーズに応じた移住定住支援

農業を仕事としたい人、スローライフを楽しみたい人、里山暮らしをしたい人などさまざまなニーズに応じて、空き家など住宅の確保の支援から移居前・移住時・移住後までの支援に取り組みます。また、移住希望者に円滑に住まいを提供するため、空き家バンク制度などの活用を推進します。さらに、仕事のために町外に通勤する人に対する支援に取り組みます。

主な事業

- 空家購入支援事業
- 空家・空き地バンク事業
- 通勤助成事業

施策2 移住者への情報発信の拡充

移住希望者に世羅町の魅力が伝わるように、移住ガイドブック・パンフレットやホームページなどで世羅町の生活環境、移住支援策、空き家情報などの情報発信をするとともに、オンラインイベントや移住フェアでの相談対応などを通じ、より具体的かつ世羅町ならではの旬の情報を伝えます。

主な事業

- 移住情報発信事業

施策3 事前体験する機会の創出

移住希望者が、お試し暮らし制度などを活用し、世羅町の自然や生活を事前体験する機会を設けることで、移住前に世羅町のことを十分に理解するとともに、移住後も満足して生活できるよう、取り組みを推進します。

主な事業

- お試し暮らし事業
- 移住体験プログラム事業

施策4 関係人口の創出

世羅町や世羅町の人々、世羅町が抱える課題などに多様に関わる人材である関係人口の創出・拡大の取り組みを推進します。また、地域外の人材である地域おこし協力隊を積極的に受け入れることで、地域の活性化を図り、地域力の維持・強化や地域の魅力の再発見につなげます。

主な事業

- 関係人口創出事業
- 地域おこし協力隊活用事業



基本施策 2 快適な住環境の整備

目 標	基準値（令和元年）	目標値（令和7年）
新築住宅戸数	72 戸	75 戸

施策1 快適な住環境の整備

世羅町への移住・定住の促進を図るため、住宅リフォームの補助事業などにより、住宅の取得を促進します。上水道が整備されていない区域については、生活水の確保のため、飲用水施設整備の助成による支援を行い、公共下水道が未整備の地域では、浄化槽設置整備の助成を実施します。

主な事業

- 住宅リフォーム補助事業
- 飲用水施設整備助成事業
- 浄化槽設置整備助成事業